

<今回>291回目 2021年4月9日(金)15時~18時 1503号室

読書は10冊目「失われた九州王朝」再読 p287、晋の「起居注」の内実 より

<前回>290回目(21-3-26)出席者 7名

資料(21-02-22-1)前回のまとめ(清水)

(21-02-22-2)風土記資料の例(清水)

(21-03-26-3)赤羽刀と郭務悰最後の訪問(清水)

A 報告 この会場「かながわ県民センター」が会場閉鎖になったので1月後半から3月前半まで4回中止にした。もっと長く中断したと思っていた。安藤会長はじめ皆さんのお顔を拝見してよかったです。下中村さんはお顔を久しぶりに見せてくださいました。6月からこの会場は修繕のため一般会員は使えなくなるので、紹介された、石川町の「かながわ労働プラザ」に変更する予定です。

B資料 2)前回筑後風土記の甕(みか)依姫は卑弥呼のではないかとの示唆があったが、風土記の古田史学の取り上げられ方について7年前の資料を再配布した。

3)最近多元の藤田隆一氏がはじめられた金曜 WEB 会で紹介した資料を配布した。これも9年前の資料で恐縮です。第二次敗戦時の武器没収の機運と白村江敗戦時の武器没収の機運と似ていないか、布絹錦の有効数字4桁の差し押さえは戦勝国の政策ではなかったかという、日本書紀の記事である。

C 読書 p282 三日本書紀の証言 から

1)「貴倭の女王」日本書紀神功紀66年、是年晋武帝の泰初2年、晋の起居注に曰く武帝の泰初2年の10月倭の女王詛を重ねて貢献せしむという。この日本書紀の本文として採用されている、この文面は写本の面からいうと、「ト部本」といわれる系列に現れる文面だ。(熱田本もこの系列)。これより古い「北野本」では文面に注目すべき違いがある。神功66年晋の武帝泰初3年初晋起居注に云う。武帝泰初2年10月貴倭女王遣重詛貢献之也。ここでは貴倭となっている。

2)起居注とは皇帝の日常の行動、言動を身近にいた皇后がメモして、のちに史料として活用された。漢代には皇后やおつきの史女。魏晋朝では天子近傍の臣がこの任に当る。写本間の異動は貴倭女王か、倭女王か。

3)改定の書写者 神功紀が残っている日本書紀の古写本を渉猟し写真化し、これを1つ1つ比較した。その結果「北野本」が「ト部本」の諸本より古形を保っていた。例として百濟禰軍(北野本)百濟將軍(ト部本)がある。ト部本の書写者は忠実な書写者なく、自分の識見で書き換えた形跡がある。親鸞研究でもこういう例があった。

4)明白な証拠 「北野本」新羅不奉貴国遣沙至比コ令討之(神功62年)。「熱田本」では新羅不奉貴貴国遣沙至比コ令討之、と繰り返し符号の読み方を忠実な書写者が貴国貴国と繰り返すべきところを貴貴国と繰り返し、のちの書写者が気が付いて貴国貴国と直して訂正印を押して経緯を印と文字で表していた。

次回日程 2021-4-23(金)15時から18時 602会議室

—5-14(金)16時から18時 601会議室

—5-28日(金)15時から18時 603会議室